

川田市長と

まちかど

開催報告

タウンミーティング

開催概要

日時: 令和6年11月30日(土)午後6時～7時

会場: 橋本公民館

参加者: 16名

テーマ: 子育て

タウンミーティングの流れ

- ① 開会
- ② 開催の目的と概要、こども・子育てを取り巻く環境について(課題整理)
八幡市で行っている子育て支援施策について、まとめ ※市長による説明
- ③ テーマについて意見交換 ※参加者と市長との意見交換
- ④ 閉会

【意見交換の主な内容】



参加者

タウンミーティングは本気で八幡市のことを良くしようと考えてる方たちばかりですごく刺激になる。

情報発信は、「広報やわた」を見ている方も多いが、今の時代はSNSを活用し、市民目線で発信すると伝わりやすいと思う。

また、一時保育について、制限があり預けられなかった。仕事をしながら子育てもできる体制を整えてほしい。



市長

「広報やわた」は担当課が、わかりやすく読めるように工夫を凝らし頑張っております。今後もSNSを含め、よりわかりやすく情報をお伝えできるように、これからも頑張っていります。

一時保育について、ファミリーサポートセンター等もあります。貴重なご意見をいただきありがとうございました。



参加者

タウンミーティングに参加したきっかけは、小学校に問い合わせた際、市役所へたらい回しされ、市役所でもたらい回しにされたこと。八幡市は行政や学校現場との連携ができていないと感じる。京田辺市は人口が増加していると伺ったが、行政や各学校現場と連携ができており、どの学校でもある程度同じ情報を提供してもらえる。また、低年齢向けの子どもを遊ばせる施設や公園施設が京田辺市は充実している。人口が増加するのは納得する。



市長

「子育て」がテーマでタウンミーティングを行うのは、今回で3回目となりますが、思っていた以上に小学校に関するご意見をたくさんいただいております。市役所と学校の連携については、市も組織体制を含め、連携強化に努めております。また、学校現場については各学校で主体性を持ち、教師の方が思いをもって取り組んでいただいております。市内各小学校の連携については教育委員会や担当部署に伝え共有してまいります。



参加者

子どもが橋本幼稚園に通っており、少人数クラスにより、丁寧に子育てしてもらえる。その反面、橋本小学校は現在、1年生1クラス35人であり、いきなり大人数クラスに入れるのは不安である。子どもをしっかり見てもらうため、少人数クラスを早急に実現してほしい。



市長

小学校入学により突然の大規模集団に馴染めないことがある、いわゆる「小一問題」ですね。八幡市では小一問題の解消に向けて、就学前の5歳児が各校に訪れ、学校行事に参加する「体験入学」や小学校教諭が各園を訪問し、学校への関心・意欲を高めるための「出前講座」を実施する等、公立園と小学校との交流事業を行っております。



参加者

子育て支援を強化するためには予算が必要。現時点で、無駄を削減する方法とするのか、税収を増加させる方法とするのか方法を聞きたい。また、八幡市は京都府内であると理解しているが、隣の枚方市と比較する。子育て支援に対する金銭的補助は枚方市の方が多いが、本日、八幡市もたくさんの支援等があることを知った。もっと、市長が発信源となり周知するべきである。



市長

財源につきまして、税収はすぐに増加しません。行財政改革も進めていますが、八幡市の魅力をアピールし、定住人口や税収の増加にも繋げていきたいと考えております。ご指摘の通り選ぶ先、住む先として選んでいただくために積極的に情報発信を行い、努力してまいります。枚方市との比較ですが、今後も近隣市の状況等も鑑みながら、施策を考えてまいります。



参加者

学校給食の無償化について、現在、金額の4分の1を補助しているが、もっと補助を行うべき。

また、市内の小児夜間救急は、金曜日の夜から土曜日の朝にかけて、週1日しか救急医がいらない。子どもの命を救える体制を整えて欲しい。



市長

給食費の補助等を含めて、限りある予算の中で行っております。これからも国や府と連携して市民の皆さまが安心して生活し続けるための支援の充実に尽くしてまいります。

医療救急体制について、他タウンミーティングでもご要望をいただいております。京都府内の多くの地域で医師不足等が課題となっております。市としては引き続き医療機関と連携し充実を図ってまいります。



参加者

学校の支援員の配置を強化してほしい。



市長

現状等を確認し、今後の運営の参考とさせていただきます。



参加者

税込増加につなげるには、ふるさと納税を強化するべきでないか。



市長

ご指摘の通りです。また、ふるさと納税は税込面だけでなく、市内事業者へのメリットも多くあると考えております。現在、プロジェクトチームを立ち上げ、取り組んでおります。

引き続き、ふるさと納税の強化に努めてまいります。